

## 第10章 施策の実施計画の策定・実施

### 第1節 実施すべき施策と期間

第5章の大綱・基本方針及び第6章から第9章で定めた方向性・方法に基づき、甲府城跡の保存・管理、活用、整備、運営・体制の整備について、今後進めるべき施策について整理し、短期的に実施すべきものと、中長期的に実施すべきものに分けて記載する。

調査等を進めていくなかで新たな検討課題等が生じてくることも考えられるため、必要に応じ継続的に取り組んでいく場合があることも想定しておく必要がある。

今後、事業の必要性、緊急性等について随時検証し、社会情勢や財政状況等も考慮しながら整備を推進していくこととなる。

なお、整備事業に係る基本方針や具体的な整備内容等については、整備基本計画を策定し具体化していくこととなる。

また、甲府城跡の堀及び愛宕山石切場跡の復元のあり方について、現時点での考え方を示す。

#### 1. 短期的に実施すべき施策

- 甲府城跡を適切に保存・活用するため、本計画で定めた基本方針を軸とした「整備基本計画」を策定する。
- 縄張り・石垣・堀・石切場跡などの遺構を確実に保存していくため、日常的な維持管理を行い、現状を把握する。特に石垣については、現状把握や動態観測を計画的かつ継続的に実施し、石垣カルテの更新等データの蓄積を行い、基礎資料を作成する。
- 甲府城跡とその城下町の価値を多様な来訪者に理解してもらうための整備を実施する。具体的には、本計画の中で「今後の調査と活用方針を踏まえて整備方針を検討する必要がある。」との基本方針が示された、①鍛冶曲輪南側の水堀の南側延長部分、②愛宕山石切場跡の二カ所については、整備方法を検討し、遺構の顕在化に取り組む。
- 堀と愛宕山石切場跡の整備に際しては、各分野の調査を行い、これを整備内容に反映させる。また、調査成果や整備内容については積極的に公開し、県民や来訪者に史跡の価値を理解してもらい、史跡を身近に感じてもらえるよう努める。
- 甲府城跡の歴史や全体像を来訪者に分かりやすく伝えるため、ガイダンス施設等の整備が必要である。現状のガイダンス的な機能をもつ施設としては、稲荷櫓・鉄門・甲府城石垣展示室・甲府市歴史公園山手御門などが挙げられるが、これらは、展示内容が限定され個別的な展示にとどまっている。以上のように、甲府城全体についての理解を深めてもらう施設がないため、既存施設の現状把握やこれらを結び付けた活用の検討をする中で、一元的なガイダンス施設の設置について検討する。

### 短期的に実施すべき施策

項目	2020 (令和2) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度
保存活用計画策定	■				
整備基本計画策定		■			
基本設計/実施設計			■		
文献・絵図等資料収集	■	■	■	■	■
石垣調査	■	■	■	■	■
発掘調査	■	■	■	■	■
保存・活用整備			■	■	■
管理・運営体制整備		■	■	■	■

### 2. 中長期的に実施すべき施策

- 甲府城跡の保存・活用のための整備については、整備基本計画に基づき計画的に実施するとともに、発掘調査や文献・絵図等の歴史資料に関する調査・研究を継続して実施し、縄張りや遺構の解明を進める。
- 再整備を含めた遺構整備について検討すると同時に、史跡内の施設等の安全確保や環境整備を継続的に行う。
- 甲府城跡の史跡景観を維持するため、史跡周辺地区の景観まちづくりの方針等との調整をはかり、将来の景観計画等の見直しにあたっては、これを反映したものとなるよう関係機関と協議を行っていく。
- 甲府駅周辺の歴史的なエリアガイドの充実をはかるため関係者と協議し、指定地周辺の甲府城跡に関連する遺構の整備についても検討を行う。

実施計画の総括表

項目/期間		実施期間		備考	
		短期的施策	中長期的施策		
<b>基礎的な取組</b>					
計画の策定	整備基本計画、実施計画、石垣整備計画等				
調査・研究	史料調査、発掘調査				
管理・運営体制	庁内の体制整備				
	国、県、市、地域活動団体等との連携				
	外部有識者等の指導・助言				
<b>史跡指定地の保存・活用・整備に係る取組</b>					
遺構の 保存整備	縄張り関連の 整備	改変部の整備方針の検討			
		改変部の整備の実施			
	石垣の整備	整備方針の検討			
		動態観測業務			
		実測調査			
		カルテの更新			
		石垣整備計画に基づく整備の実施			
	堀の整備	整備方針の検討			
		整備の実施			
		水質管理			
	石切場の整備	整備方針の検討			
		整備の実施			
	表示遺構	再整備について検討			
	史跡境界標の 設置	文化財保護法上義務つけられている史跡境界標 の設置			
	建造物の 保存整備	復元建造物の 保存・整備	維持管理計画などの作成		
防火設備・消火施設等の整備					
上記建造物の経年劣化調査等の実施・改修の検 討					
本質的価値以 外の要素の取 り扱い		武徳殿・恩賜林記念館の取扱いの長期的な方針 の検討			
	謝恩碑等の取扱いの長期的な方針の検討				

項目/期間			実施期間		備考
			短期的施策	中長期的施策	
<b>史跡指定地の保存・活用・整備に係る取組</b>					
環境整備	自然環境	植栽計画の検討	■		
		史跡や復元建造物への影響を考えた適切な植栽計画に基づく樹木管理	■		
	施設の整備	整備方針の検討	■		
		防災対策の検討	■		
		緊急設備、危機・安全マニュアルの作成等緊急対応策	■		
		上下水道・電気等インフラ施設保守・点検・改修	■		
		園路照明・ライトアップ照明等照明設備設置・保守・点検	■		
		防犯カメラ等防犯施設の検討・設置	■		
		消火栓、防火水槽、自動火災報知機等消防設備設置・保守・点検	■		6ヶ月毎点検
		転落防止柵の再整備	■		
公開活用	情報発信	ホームページ、パンフレット等による甲府城や城下町の歴史に関する情報提供の促進	■		
	啓発・学習	発掘調査及び整備工事の現地説明会の開催	■		
		歴史講演会・史跡見学会・体験学習会の開催	■		
		ガイダンス施設等の検討・整備	■		
		周辺文化財等との連携による活用	■		
		学校教育・社会教育との連携による活用	■		
		ボランティアガイドの育成	■		
		観光資源としての活用	■		
		都市公園・歴史公園としての活用	■		
	案内表示	説明板・案内看板等の保守・整備	■		
活用状況の把握	利用者へのアンケート調査等の実施	■			
<b>史跡指定地外に広がる城郭域の保存・整備に係る取組</b>					
指定地外の保存整備	城郭遺構の明示	外堀・内堀等城郭関連遺構の標識・説明等の検討、設置	■		
	追加指定	山手門などにかかる追加指定の調査と検討	■		